

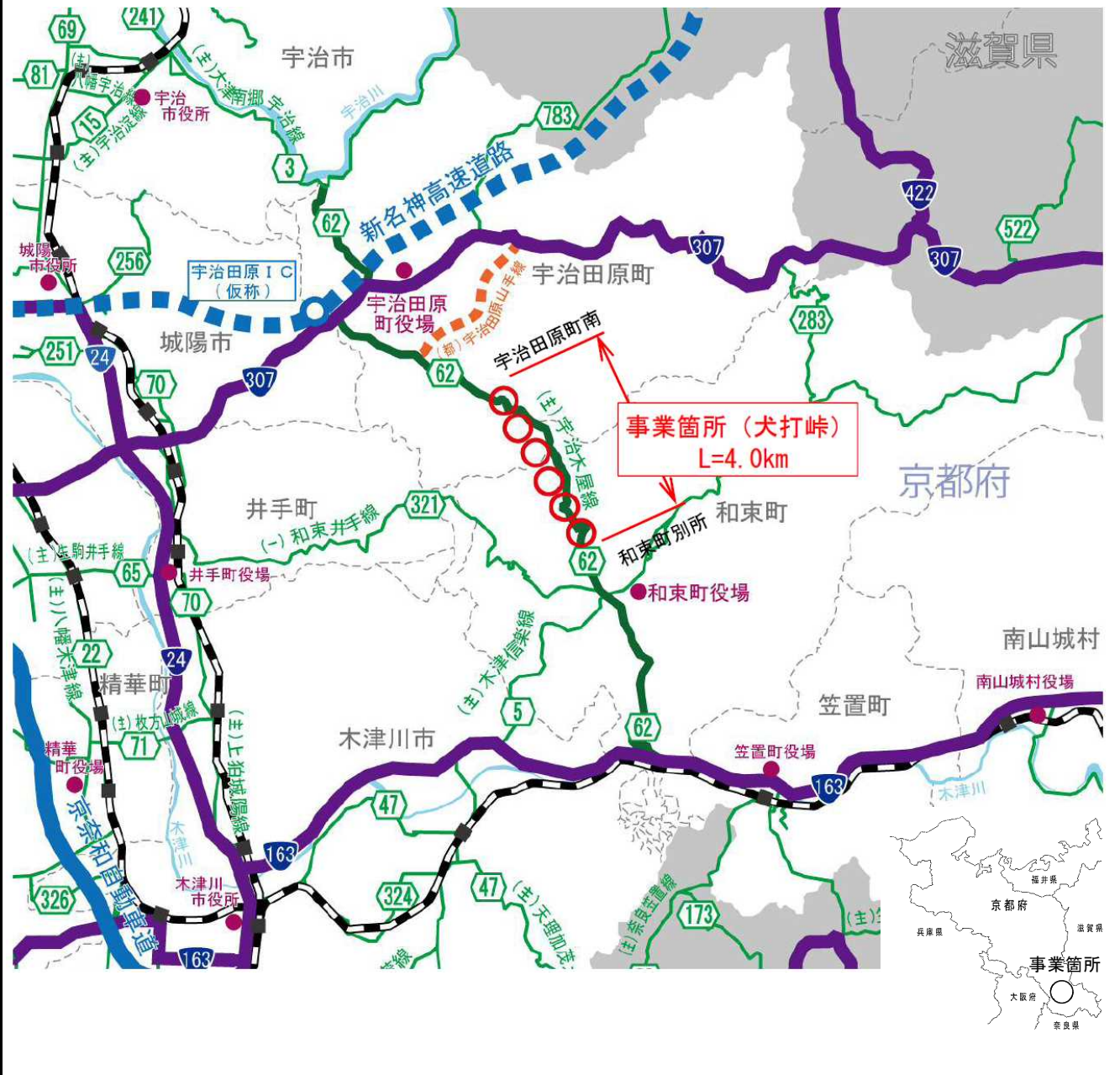
再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課：環境安全課

担当課長名：森山 誠二

事業名	主要地方道 ^{うじこや} 宇治木屋線 3工区 ^{いぬうちとうげ} （大打峠）	事業区分	地方道	事業主体	京都府	
起終点	自：京都府 ^{うじたわら} 宇治田原町 南 ^{みなみ} 至：京都府 ^{わづか} 和束町 別所 ^{べつしよ}			延長	4.0 km	
事業概要	宇治木屋線は、宇治市を起点に、宇治田原町を経由し、和束町木屋に至る道路であり、新名神高速道路の宇治田原IC（仮称）へアクセスする、地域の南北軸を形成する路線。幅員狭小かつ線形不良の区間をバイパス整備することにより、地域産業の振興や交流人口の拡大を図る。					
H29年度事業化	—		H30年度用地着手予定	H31年度工事着手予定		
全体事業費	約65億円	事業進捗率	約1%	供用済延長	— km	
計画交通量	4,800台/日					
費用対効果 分析結果	B/C	総費用 （事業費： 維持管理費：	51億円 49億円 2.2億円	総便益 （走行時間短縮便益： 走行経費減少便益： 交通事故減少便益：	113億円 101億円 10億円 1.8億円	基準年 平成28年
感度分析の結果	<p>交通量：B/C=2.0~2.4（交通量±10%）</p> <p>事業費：B/C=2.0~2.4（事業費±10%）</p> <p>事業期間：B/C=2.2~2.2（事業期間±20%）</p>					
事業の効果等	<p>①安全で快適な道路交通の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイパス整備により、線形及び道路幅員の改良等を実施し、安全で快適な道路交通を確保する。 <p>②災害時の安心・安全の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域防災拠点等へのアクセス機能を確保し、地域の防災力強化に寄与する。 <p>③高速道路へのアクセス機能の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新名神高速道路へのアクセス機能の向上により、地域産業の振興や観光客の呼び込み等に寄与する。 <p>④新たな交流圏の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品である「宇治茶」の主産地を連絡する道路の整備により、生産・販売等の促進を支援 ・平成27年4月に日本遺産に認定された地域であり、お茶の文化を活かした交流型観光等の推進を支援 					
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・主要地方道宇治木屋線改良推進協議会（会長：和束町長、副会長：宇治田原町長ほか）から要望 					
事業評価監視委員会の意見	<p>事業実施について異議はなかった。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>—</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>用地取得率約0%、事業進捗率約1%</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>現在は測量設計を実施中であり、今後、用地買収に着手していく。</p>					
施設の構造や工法の変更等	<p>トンネルのルート検討にあたって最も経済的になるものを選定</p>					
対応方針	<p>事業継続</p>					
対応方針決定の理由	<p>事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。</p>					

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。